

# 第3学年保健体育科学習指導案

日 時：令和3年11月5日（金） 5時間目  
学 級：釜石市立釜石中学校 3年3組 35名  
会 場：体育館  
指 導 者：佐藤 彩華

1 単元(題材)名 球技 「ゴール型：ハンドボール」

2 内容のまとめり [体育分野 第3学年] E「球技」

## 3 単元(題材)の目標

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。  
ア 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 「知識及び技能」
- (2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 「学びに向かう力、人間性等」

## 4 単元(題材)について

- (1) 生徒について  
運動部に所属している生徒が多いため、全体的には運動に意欲的に取り組むことができる。しかし、ハンドボール経験を持つ生徒はいない。仲間同士で教え合ったり協力し合ったりして学習できる場面を工夫することにより、他と関わり合いながら基礎基本の知識や技能、戦術などを身につけさせたい。
- (2) 教材について  
ハンドボールは、手頃な大きさを手で扱い、連携したパスや思い切ったシュートで攻めたり、マンツーマンディフェンスやゾーンディフェンスなどで守ったりして、勝敗を争うところに楽しさがある。
- (3) 指導について  
仲間との連携技能を高めながらゲームに積極的に参加することで、達成感や有能感を味わうことができ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現のための基礎を培うことができる。と考える。

### (4) 本研究との関わり

研究主題【主体的に学びに向かう生徒の育成 ～生徒の「問い」を大切にした授業を通して～】

#### ①「生徒の問いを大切にした授業」について

「なぜ上手いかないのか」「どのチームにも万能な戦術なのか」という問いを、試合を通して考察し、表現する学習にしていきたい。

#### ②「問い」のある授業について

##### ★学びを実感する振り返り

動画を使って導入場面での前時の振り返り、終末での本時の振り返りを行う。

##### ★学びを追求する課題設定

動画を使って自分達の試合を振り返り、どのように攻めたら良いかという問題から、課題を設定する。

##### ★他者との関わりを大切にする学習活動と、教師によるファシリテートの在り方について

- ①他者の考えと比べながら、共通点や相違点を確認する。
- ②生徒の考えや発言をつなげ、価値づけ、学習のねらいに迫る。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>技能</p> <p>①味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>②パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。</p>	<p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p> <p>③相手を尊敬するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>

## 6 指導と評価の計画 (OF: オフェンス, DF: ディフェンス)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	○オリエンテーション ・本単元の進め方、ハンドボール特性やルールを知る	・ハンドボールの楽しさは何かを映像を用いて紹介する。	【知①】 [振り返り用紙]
2	○基本的なパス、キャッチ、ジャンプシュートのポイント理解	・投げる腕を後方に引き、投げる動作を確認する。	【態③】 [観察]
3	○パスキャッチからリズム良くジャンプシュート	・チーム内でシュート動作を映像に収録し、自己の動作の善し悪しを確認させる。	【思①】 [振り返り用紙]
4	○ディフェンスの特徴	・ゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスの特徴を映像を用いて紹介する。	【技①】 味方の動きに合わせてパスができる。[観察、動画]
5	○パスを連続でつなぐための動き	・相手DFの形態を確認する。 ・パスをした後止まったままになっていないか確認する。	【態②】 [観察]
6 本時	○空間を利用してパスをつなぐための動き	・パスをした後にどこに移動すると得点につながる攻め方になるか映像で確認し、自分達に合った攻め方確認する。	【思②】【態②】 チームの弱点や特徴を分析し、自分の意見を伝え、仲間と意見交換や書き出している。 [観察、振り返り用紙、VTR]
7	○総当たりのリーグ戦①	・リーグ戦の行い方、対戦表の記入の仕方を確認する。	【思③】 自分に適している「する・みる・支える・知る」などの運動を継続して楽しむための関わりを見つけている。[振り返り用紙] 【態①】 [観察、振り返り用紙]
8	○総当たりのリーグ戦②	・リーグ戦の行い方、対戦表の記入の仕方を確認する。	【知②】 単元で学習したことを踏まえて、自己観察や他者観察について書き出している。 [振り返り用紙] 【技②】 [観察、動画]

## 7 本時の指導

- (1) 本時の目標 作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】  
自分のチームの特徴を捉え、自分達に合った攻め方を考えている。【思考・判断・表現】
- (2) 展開

段階	学 習 活 動 (研究との関連★)	指導上の留意点○ 評価【◆】
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・補助運動               <ul style="list-style-type: none"> <li>①サークルパス</li> <li>②シュート                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ドリブルから</li> <li>(2)パスから</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・前時の確認</li> <li>★学びを実感する振り返り</li> <li>・本時の課題確認</li> <li>★学びを追求する課題設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○声をかけ行き、怪我をしないように指示する。</li> <li>○前時の映像や振り返り用紙を使用する。</li> </ul>
<b>本時の課題：自分のチームの良さを生かした攻め方を考えよう</b>		
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3対3の試合①</li> <li>・チームでの作戦タイム (動画視聴)</li> <li>★他者との関わりを大切に学習活動と、教師によるファシリテートの在り方について (2)はげます (3)価値づける)</li> <li>・3対3の試合②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○攻撃側はパスを使用し、スペースを見つけて攻めること、守備側はディフェンスをゾーンかマンツーマンか確認させる。</li> <li>○スペースについては、空いている空間に走り込むこと、ボールから離れてディフェンスを引きつけ空間を作ること2つがあることを確認させる。</li> <li>○動画用いて、自分のチームの良い点・改善点を確認する。</li> <li>◆動画で確認しチームで作戦や戦術を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>○作戦タイムでの見立てが合っているか</li> </ul>
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り用紙記入</li> <li>★学びを実感する振り返り (★次回他のチームとやった時、今回の戦術はうまくいきそうか次回の予想を立てる)</li> <li>・本時のまとめ</li> <li>・挨拶</li> <li>・片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分のチームに合った攻め方とその理由について記入している。 【思考・判断・表現】</li> </ul>

### (3) 本時の評価規準

	十分満足 (A)	概ね満足 (B)	努力を要すると判断される状況への生徒への指導の手立て (C)
態度	作戦などについて、話し合いで仲間の意見を取り入れたりまとめたりしながら、チームに合う攻め方を述べている。	作戦などについて、話し合いでチームに合う攻め方を述べている。	自分の意見を述べられない。 →うまくいっている部分や改善点を、映像を用いて確認し、話し合いに参加する視点を与える。
思判表	チームの弱点や特徴を気づき、自分の意見を伝え、仲間と意見交換しながら、自分やチームが改善すべき具体例を書き出している。	チームの弱点や特徴に気づき、自分の意見を持ち、仲間と意見交換をしながら、自分やチームの改善点を書き出している。	合意形成の理解が不十分で、自分の意見が伝えられなかったり、意見交換に参加できなかったりしている。 →チームの分析結果を確認させ、自分の考えや意見をまとめさせる。